

令和4年度 大阪府立高槻北高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

校名	府立高槻北高等学校
校長名	青竹 二郎

開催日時	令和5年1月20日(金)
開催場所	府立高槻北高等学校 2階 会議室
出席者(委員)	米津俊司会長、本村康哲副会長、栗原 綾委員、柏原泰和委員、 重村秀則委員
出席者(学校)	青竹二郎(校長)、伊藤倫隆(教頭)、山地謙一郎(事務長)、上田千歳(首席)、 松本庸子(首席)、水口翔太郎(総合調整部長代理)、藤塚雅弘(記録)
傍聴者	なし
協議資料	冊子資料 ①令和4年度 第3回学校運営協議会次第 ②令和4年度 第2回学校運営協議会議事録 ③委員名簿ならびに本校出席者一覧 ④配席図 資料編 ①令和4年度学校経営計画及び学校評価 ②令和5年度学校経営計画及び学校評価 ③令和4年度 第2回学校教育自己診断 生徒集計結果 ④令和4年度 学校教育自己診断 保護者集計結果 ⑤令和4年度 学校教育自己診断教員集計結果
備考	

議題等(次第順)
1 開会宣言(教頭) 2 開会挨拶(校長) 3 本校の現状と課題 令和4年度学校経営計画の評価について(校長) 令和5年度学校経営計画(案)について(校長) 令和4年度 学校教育自己診断結果について(松本首席) 4 質疑応答ならびに協議 5 閉会挨拶(校長) 6 閉会宣言(教頭)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

1年生「地理総合」(森教諭)、2年生「物理」(水口教諭)の授業見学後、会議室にて定刻に開始された。

校長および担当教員から資料に基づき説明があり、質疑応答がなされた。

【令和4年度学校経営計画の評価について】

【令和5年度学校経営計画(案)について】

(委員)

令和5年度学校経営計画案の中期目標の学力・進学保障の「作文コンクール」について、テーマはあるのか、作文の分量はどのくらいなのか、そして作文の指導は難しいと思うがどのようにされているのか。

(高校)

昨年まではテーマごとに優秀賞を決めていたが、今年からはテーマを絞り「今までの経験から」と「理想としての学校像」としている。教志コース生全員に夏休みの宿題課題として提出させ、教志コース担当教員で優秀な作文を選び、その中から更に人選している。その中の生徒が今年度の優秀賞をいただいた。作文の分量は1200字程度になる。また、作文指導は手直しが必要な生徒もいるが指導としては特段に行っていない。

(委員)

この作文コンクールの主催はどこなのか、また特別推薦枠との関係はどうなのか。第1回の協議会でも意見を述べたが国立大学をめざす生徒のためにも高槻北高校の教志コースを各大学に広く認めていただくためにも大学との入試に関する協議の場で協議してほしい。

(高校)

作文コンクールは府立高校教職コンソーシアムとの連携事業であり、主に大阪教育大学が行っている。高槻北高校の教志コース生が作文コンクールで優秀賞をいただいたことを入試の特別推薦枠に繋げていくよう、コンソーシアム等で協議していきたい。

(委員)

理系を選択している中で女子生徒はいるのか。

(高校)

理系で物理を選択している女子生徒は少人数であるが在籍している。。

(委員)

令和4年度学校経営計画の評価の学校運営に、「地元の小中学校などの授業参観の機会を設け」と評価項目として記載されているとおり、今後も双方がモチベーションを上げて刺激あえるように継続していきたい。

(委員)

学力・進学保障の2年生の教志入門について、効果的な運営方法を「確立する」から「継続する」に変更してことと、学校生活の「総合的な探究LHR」から「総合的な探究の時間」に変更したことについて伺いたい。

(高校)

学力・進学保障の2年生の教志入門については、教志コースの目玉であり、本年度は前後期の実習も充実したものになっており教志入門は大枠としては確立してきている。今後確立した授業を継続していくために変更した。学校生活の総合的な探究LHRについては、表現を分ける意味から1年生では独立した授業になっているために変更した。

(委員)

取組内容及び自己評価について、学力・進学保障の進学実績に具体的な人数が記載されているが、年度替わりによりクラス数が増えるため割合で記載することはどうか。

(高校)

年度が替わりクラスの減により数字が下がったとしても、割合がそんなに変わらないのであれば教員の励みにもなるので数字はそのままにしておきたい。

(委員)

今年度の大学共通テストの出願に対する生徒の対応状況を伺いたい。

(高校)

共通テストを受験する生徒の割合は昨年度と殆ど変わらない。生徒全体には受験するよう指導しているが、私立大学の指定校推薦をめざしている生徒が大半であり、共通テストの申込時期の説明会には参加するが私立大学をめざしている生徒は最終的には受験していない。

(委員)

3年生になって受験モードになるのは当然であるが、2年生の時に具体的な目標設定など、今頑張っていけばもっと高い成果を得られるような手立てがあればと思っている。

(委員)

以上の質疑応答により、令和4年度学校経営計画の評価と令和5年度学校経営計画(案)について承認したい。

【令和4年度学校教育自己診断結果について】 (委員) 教員の診断結果を見ていると全体的に下がっているような印象を受ける。 (高校) 教員の診断結果は全体的に下がっている印象があるが、18項目中の下がっている項目は10項目で、上がっている項目は8項目であった。教員全体で行うような項目については下がっているが、教員個人の取組等は上がっている。 (委員) 教員の診断結果のいじめの問題の対応について伺いたい。 (高校) 本校では「いじめの問題はない」と断言はできないが、いじめ防止のセーフティネットとして「安心で安全な学校生活を過ごすために」のアンケートを年2回、「いじめ」に特化したアンケートを年1回実施している。回収する中でコメントがあれば即時調査を行い、対応するようにしている。 その他の質疑応答 (委員) 令和5年度学校経営計画案の本年度の取組内容及び自己評価、学校運営の教職員の働き方改革の定時退庁日(水曜日推奨)について伺いたい。 水曜日推奨とあるが、7時限目まで授業があり色々な制約がある中で先生方がご苦労されているのではないか。 (高校) 先生方は本当にご苦労されている。現場では仕事量を減らすことはできないし、減らしてしまうと生徒のケアができなくなってしまうので、どうしてもマンパワーに頼らざるを得ない現状がある。 できることの一つとして時間外の外線電話の受付中止を実施する予定であるが、教員の負担軽減につながるかは未知数であり、今後校長会等で議論して改善策を模索していきたい。 (委員) 電動キックボードの免許不要、自転車のヘルメット着用の努力義務など、社会情勢の変化に対する高校の対応について伺いたい。 (高校) 本校はほとんどの生徒が通学に自転車を利用しており、雨天時には雨合羽の置き場もない状態である。 その上にヘルメット着用となると抜本的に解決しなければならない問題になる。また、通学時の電動キックボードの使用についてはヘルメット着用ともに議論していきたい。 (委員) 令和4年度学校教育自己診断のアンケートに対し、2年生であれば60名の生徒が回答していない。このことを踏まえたうえで、社会情勢の変化にも対応できうる学校教育に尽力していただきたい。 以上の質疑応答があり、校長から謝辞が述べられ、教頭の閉会宣言がなされ閉会した。	
次回の会議日程	
日時	
会場	